

atect

決算説明資料

2009年3月期第3四半期

atect

JASDAQ
Listed Company 4241

2009年2月
株式会社アテクト

第1部 2009年3月期 第3四半期概要**P3****第2部 直近の取り組みと今後の予想****P16****配当政策****P18****第3部 参考****P19****中期計画数値目標****P20****IRカレンダー****P23**

第1部

atect

2009年3月期 第3四半期概要

[連結]

増収・減益

売上高---累計【29億1,361万円】

前年同期比 +11.0%

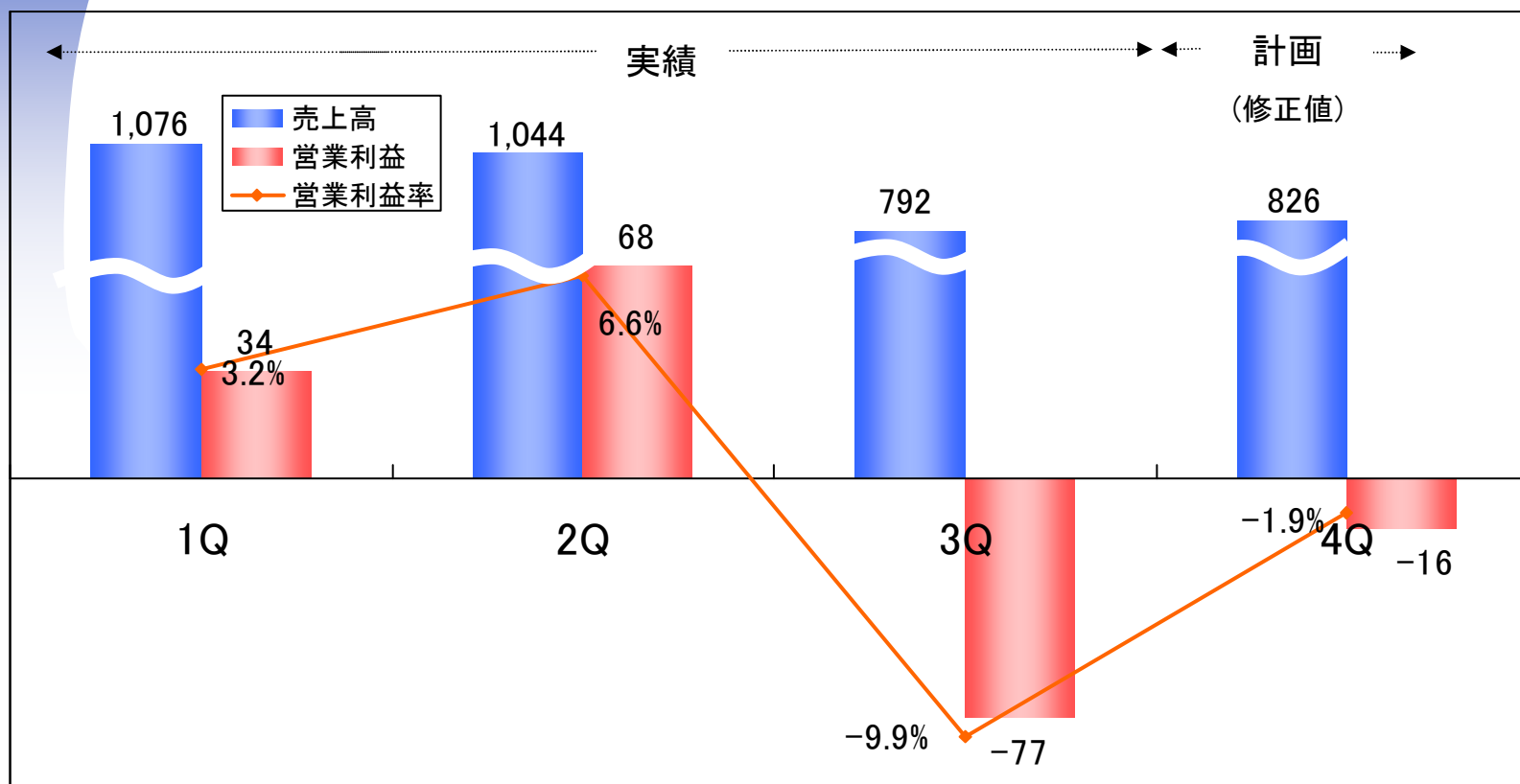
経常損失---累計【△4,266万円】

- ① 半導体資材事業において新興国を含めた急激な世界的需要の減退による売上の停滞・減少
- ② 2008年に子会社化したトライアル(株)と(株)ダイプラののれん償却
- ③ アテクト코리아立ち上げに伴い採用した人員の人件費増加
- ④ 設備投資による減価償却費の増加
- ⑤ ジェネシス・テクノロジー(株)の民事再生申立による、貸倒引当金積み増し
- ⑥ (株)アテクト코리아において、当社向け債務に対する為替差損の計上

(単位:百万円)

	08年3月期 第3四半期累計	09年3月期 第3四半期累計	09年3月期 連結決算予想	前期比
売上高	2,625	2,913	3,738	+5.7%
売上総利益	847	811	1,057	
(粗利益率)	(32.3%)	(27.8%)	(28.3%)	
(販管費比率)	(24.3%)	(26.9%)	(28.0%)	
営業利益	208	26	10	
(営業利益率)	(8.0%)	(0.9%)	(0.3%)	
経常利益	188	△ 42	△ 97	
(経常利益率)	(7.2%)	(△1.5%)	(△2.6%)	
純利益	92	△ 126	△ 168	

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	08年3月期 年度末 (連結)	構成比 %	09年3月期 第3四半期末 (連結)	構成比 %	前期末対比 %
流動資産	1,495	38.8	1,824	41.1	1.2
現金及び預金	359		542		
受取手形、売掛金	717		695		
たな卸資産	370		513		
その他	47		72		
固定資産	2,362	61.2	2,616	58.9	1.1
有形固定資産	2,055		2,274		
無形固定資産	154		208		
投資その他の資産	153		133		
資産合計	3,858	100.0	4,440	100.0	1.2
流動負債	1,606	41.6	1,954	44.0	1.2
支払手形、買掛金	474		558		
借入金、社債	836		1,116		
その他	295		279		
固定負債	238	6.2	668	15.0	2.8
借入金、社債	216		594		
その他	21		73		
負債合計	1,844	47.8	2,622	59.1	1.4
株主資本	2,084	54.0	1,925	43.3	0.9
資本金	729		729		
資本剰余金	649		649		
利益剰余金	804		645		
自己株式	△ 99		△ 99		
評価・換算差額等	△ 71	△ 1.8	△ 113	△ 2.5	-
為替換算調整勘定	0	0.0	△ 113	△ 2.6	
新株予約権	0	0.0	6	0.1	
純資産合計	2,013	52.2	1,818	40.9	0.9
負債純資産合計	3,858	100.0	4,440	100.0	1.2

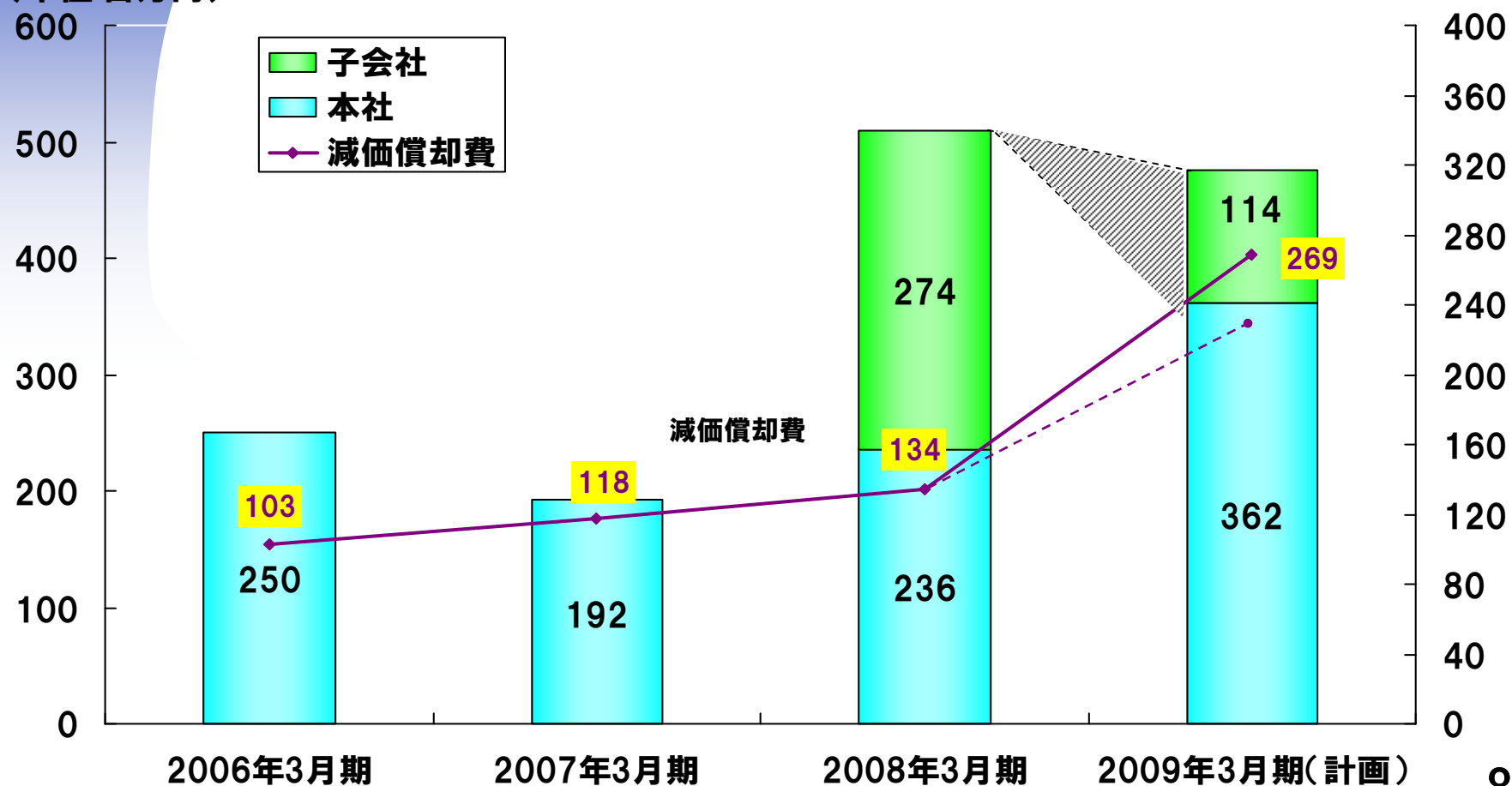
・ダイプらの
子会社化による
「のれん」の増加

・建物や機械等
の「有形固定資
産」増加

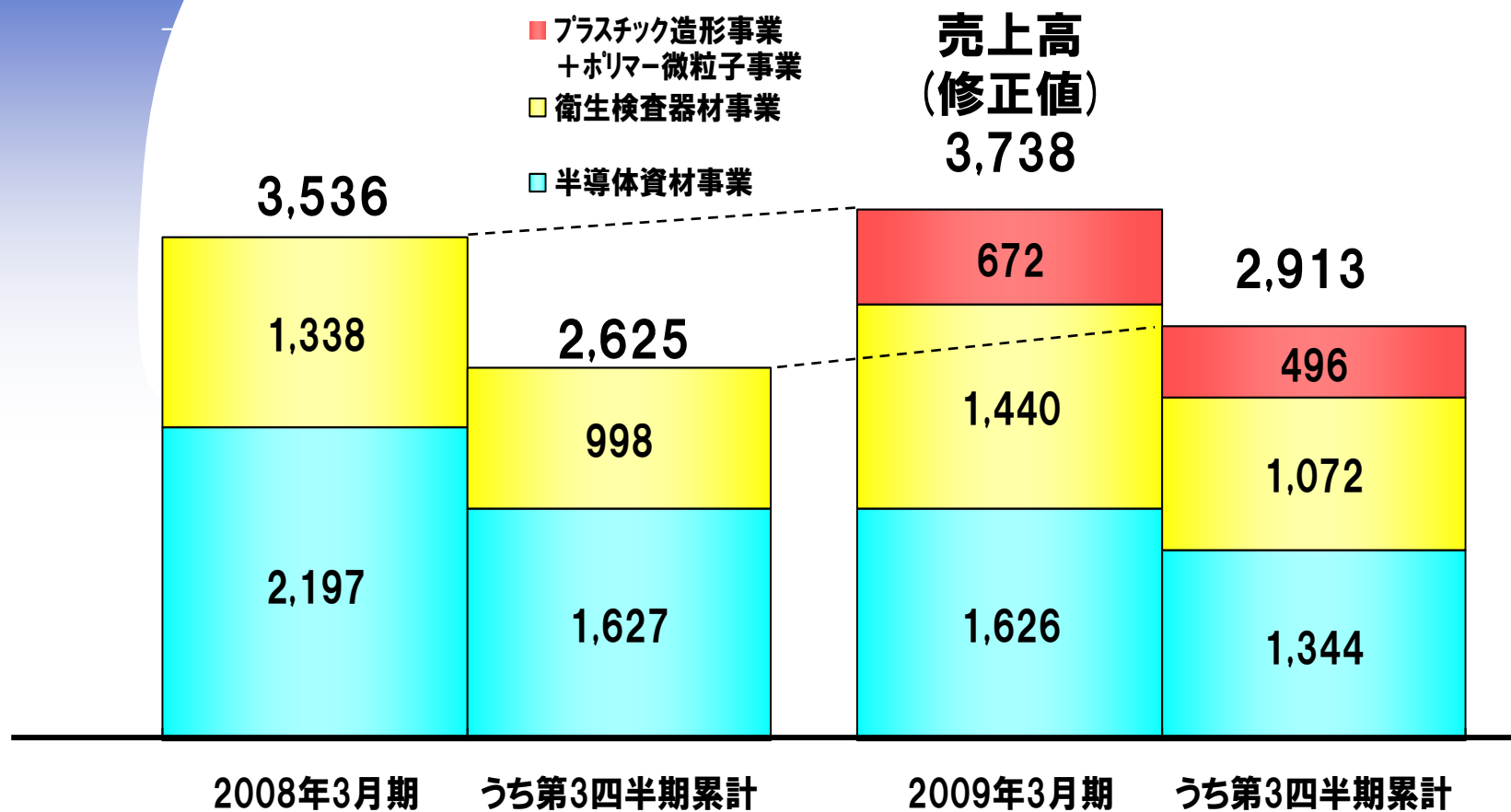
・子会社化及び
それに伴う運転
資金、設備投資
資金のため「借
入金」増加

- ・ 本社 → スペーサーテープ洗浄設備、シャーレ成形設備、金型製造設備
- ・ 子会社 → ダイブラ3次元造型機、アテクトコア機械設備

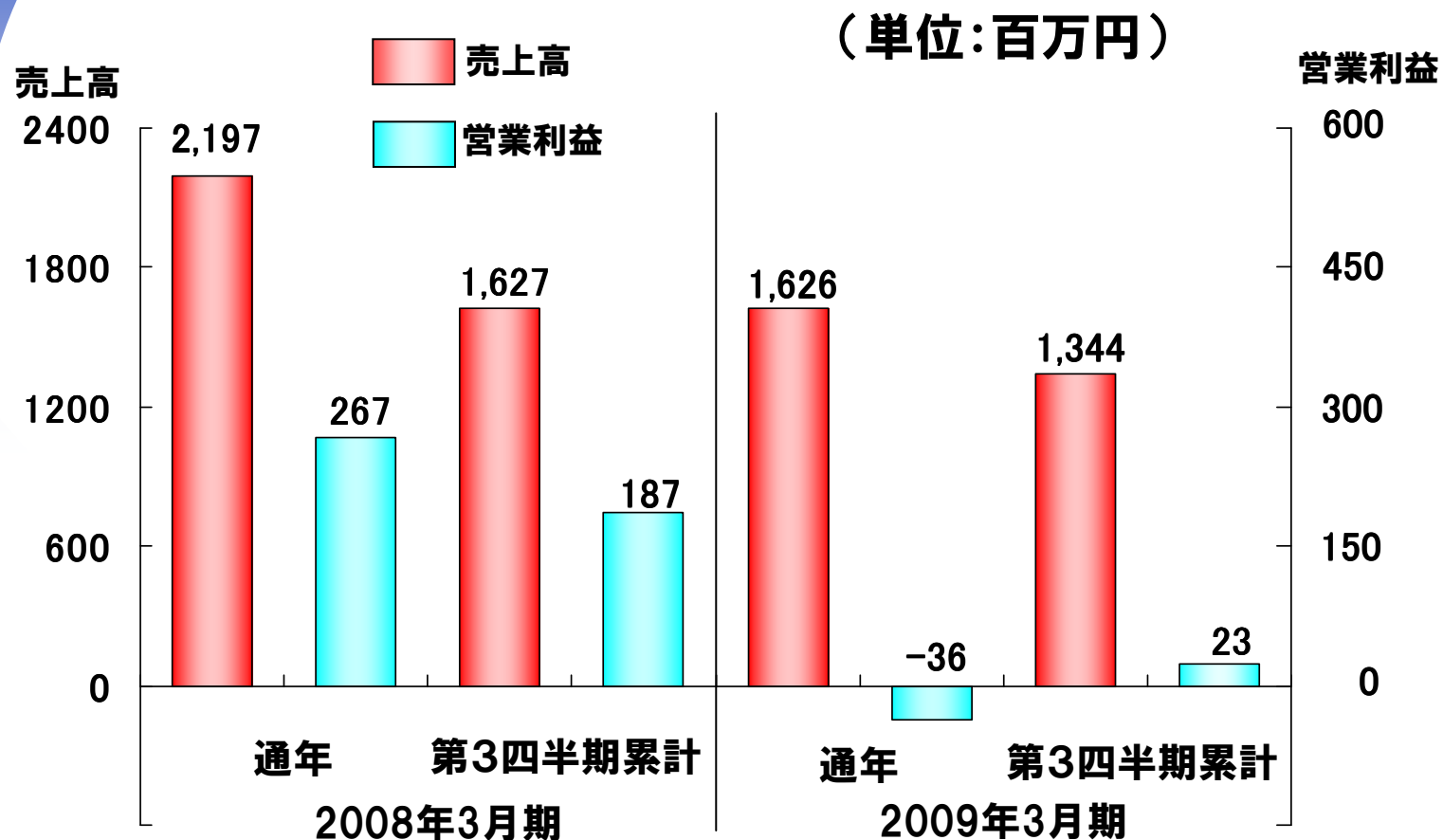
(単位:百万円)



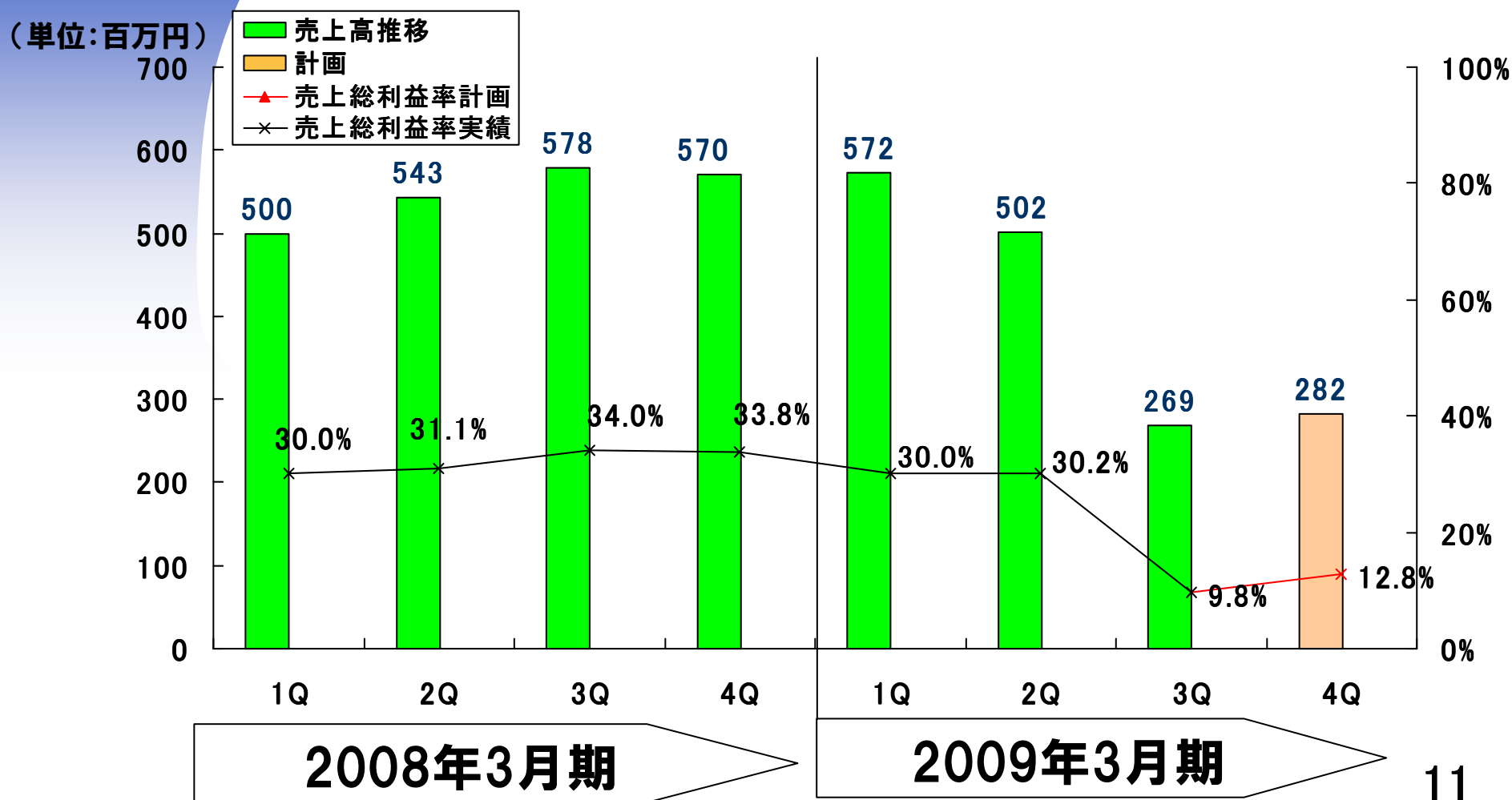
(単位:百万円)



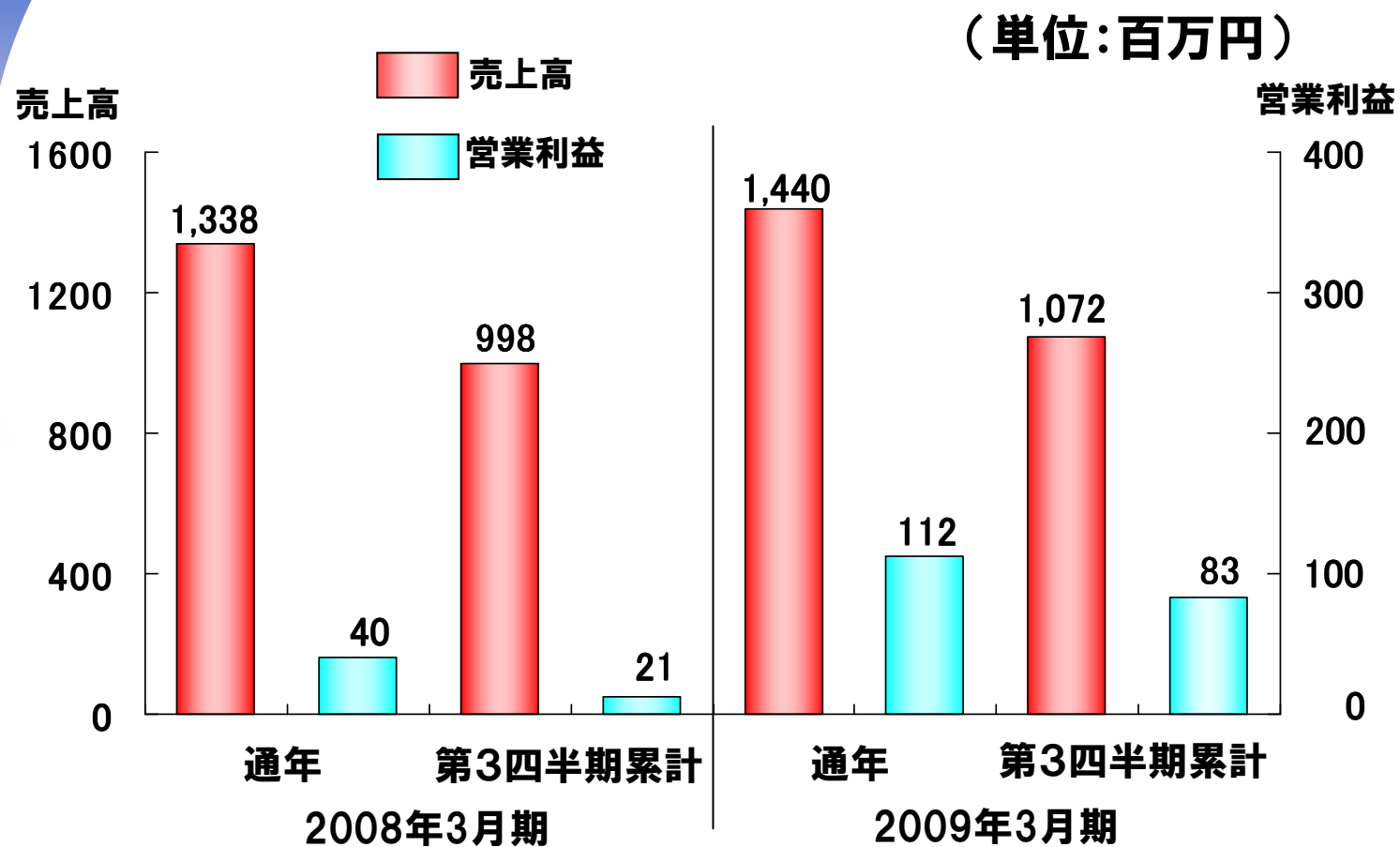
第2四半期以降、世界景気の停滞、パネルの在庫増により売上高減少



新興国を含めた急激な世界的需要の減退による液晶パネルの在庫調整のため
第2四半期より売上高減少

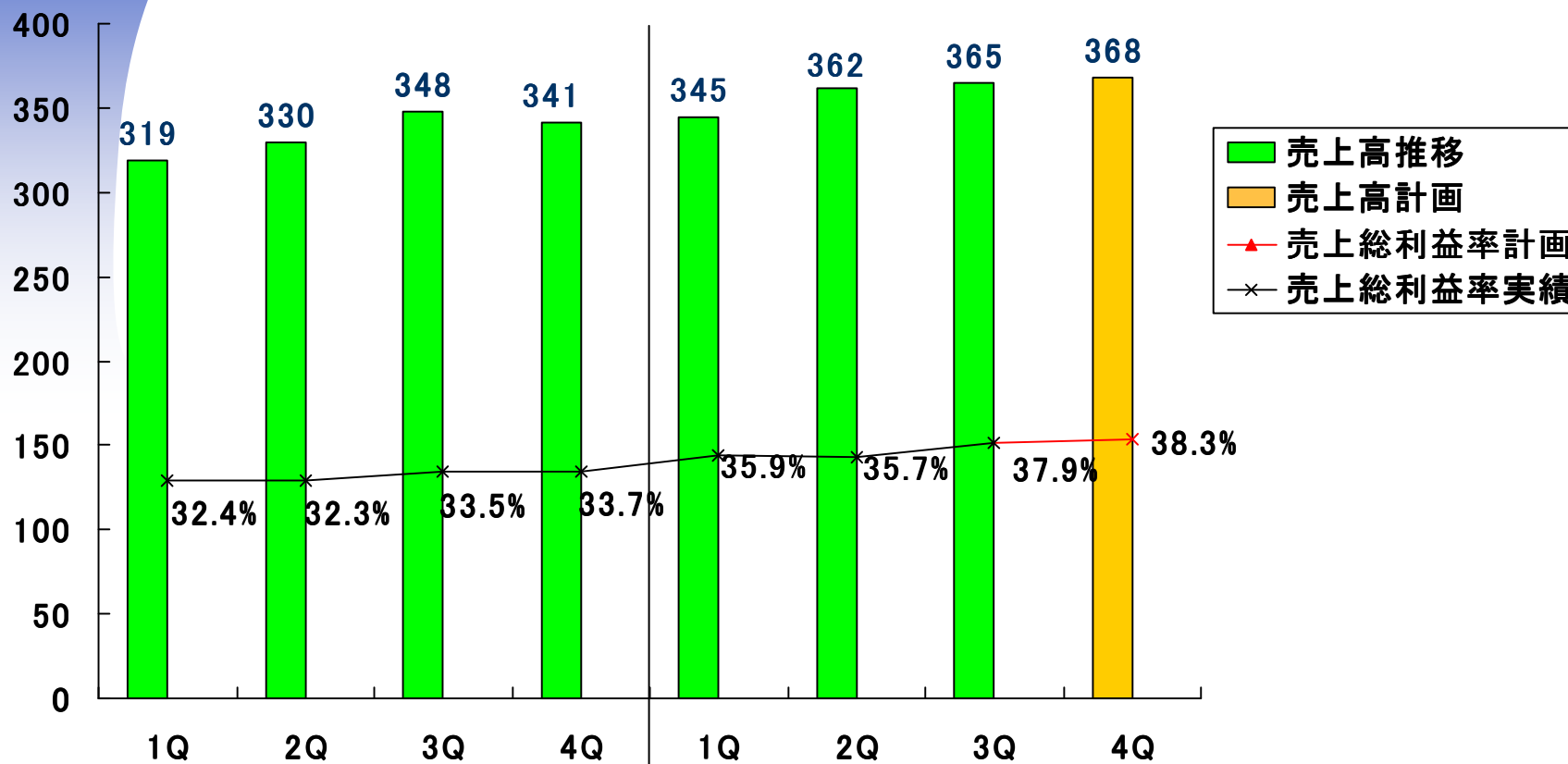


新規顧客の獲得、一部販売価格の見直し等により堅調を維持



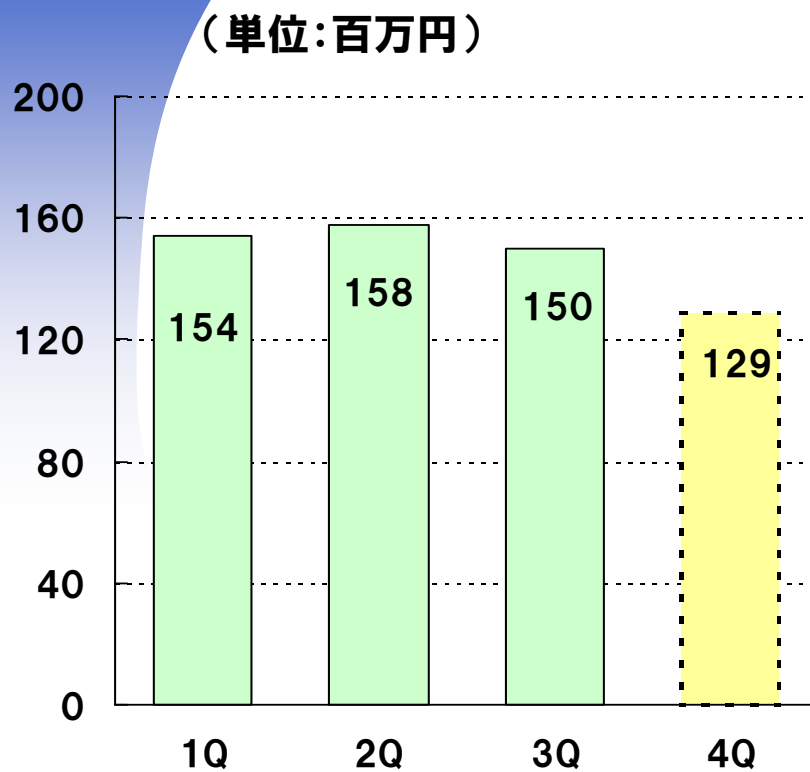
シャール売上高が好調に推移、培地分注済製品、コリターグも堅調で、前年同期比7%増収

(単位:百万円)



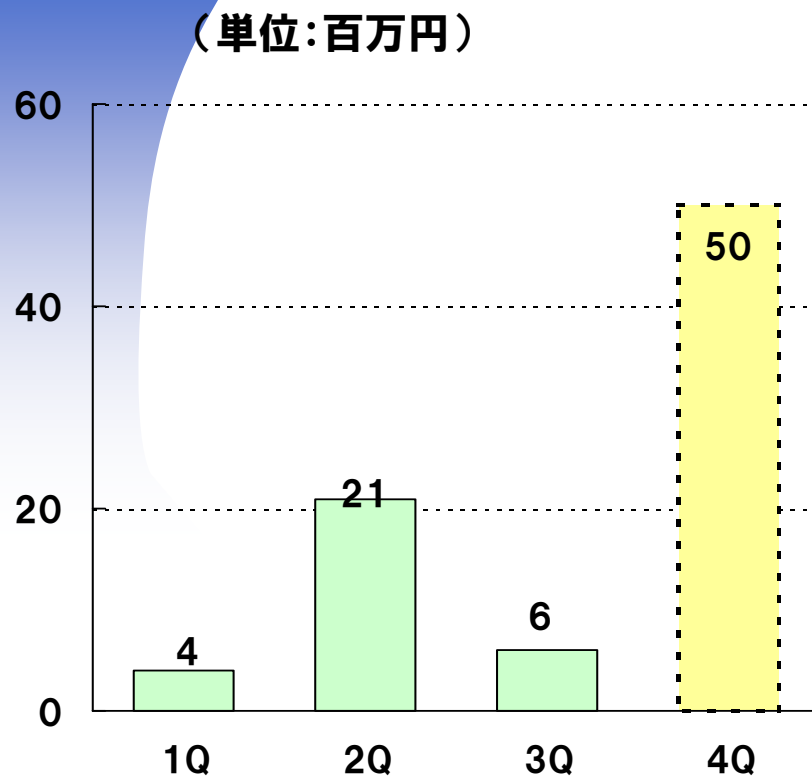
2008年3月期

2009年3月期



2009年3月期

- 堅調に推移
⇒顧客毎の利益構造見直し、
利益率の高いユーザーへの
大幅なシフト
⇒販売価格見直し
⇒積層造形焼結機の活用による
開発案件の増加
- 金型部門のアテクトへの移籍に
よる一元化と効率化
⇒拠点統廃合の一部完了



2009年3月期

- 新素材による積層造形材料を米3Dシステムズ社へ出荷強化
- ポリプロピレンに続く材料開発
- 工場の増産体制構築
⇒人員増強等
- 本社を埼玉県北本市に移転・統合、事業所を集中、開発・生産が効率化
- 自動車関連等への拡販注力中

第2部

atect

直近の取り組みと今後の予想

1. 半導体資材事業

(1) 生産拠点の統合

本庄工場(スパーサーテープ製造)を角田工場に統合
ダイプラ第2工場をアテクト本社工場に統合

2. 衛生検査器材事業

(1) 原材料価格の大幅低減

(2) コリターグ(水質検査用試薬)の大幅伸長

(3) 生培地(培地充填済みシャーレ)の大幅伸長

3. プラスチック造形事業

(1) 粉末積層造形による構造材

(2) 新規造形材料の共同開発(トライアル社)

4. ポリマー微粒子事業

(1) 粉末積層造形用途

① 米3Dシステムズ社への量産出荷

② 国内自動車メーカーの試作用材料に決定

(2) 固体潤滑剤用途

(3) カーボンマイクロコイルとのコンポジット材料

**2008年3月期の配当を実施
一株あたり20円(2008年6月27日)
*分割後10円**

今後の配当政策を引き続き検討

第3部

atect

参 考

(単位:百万円)

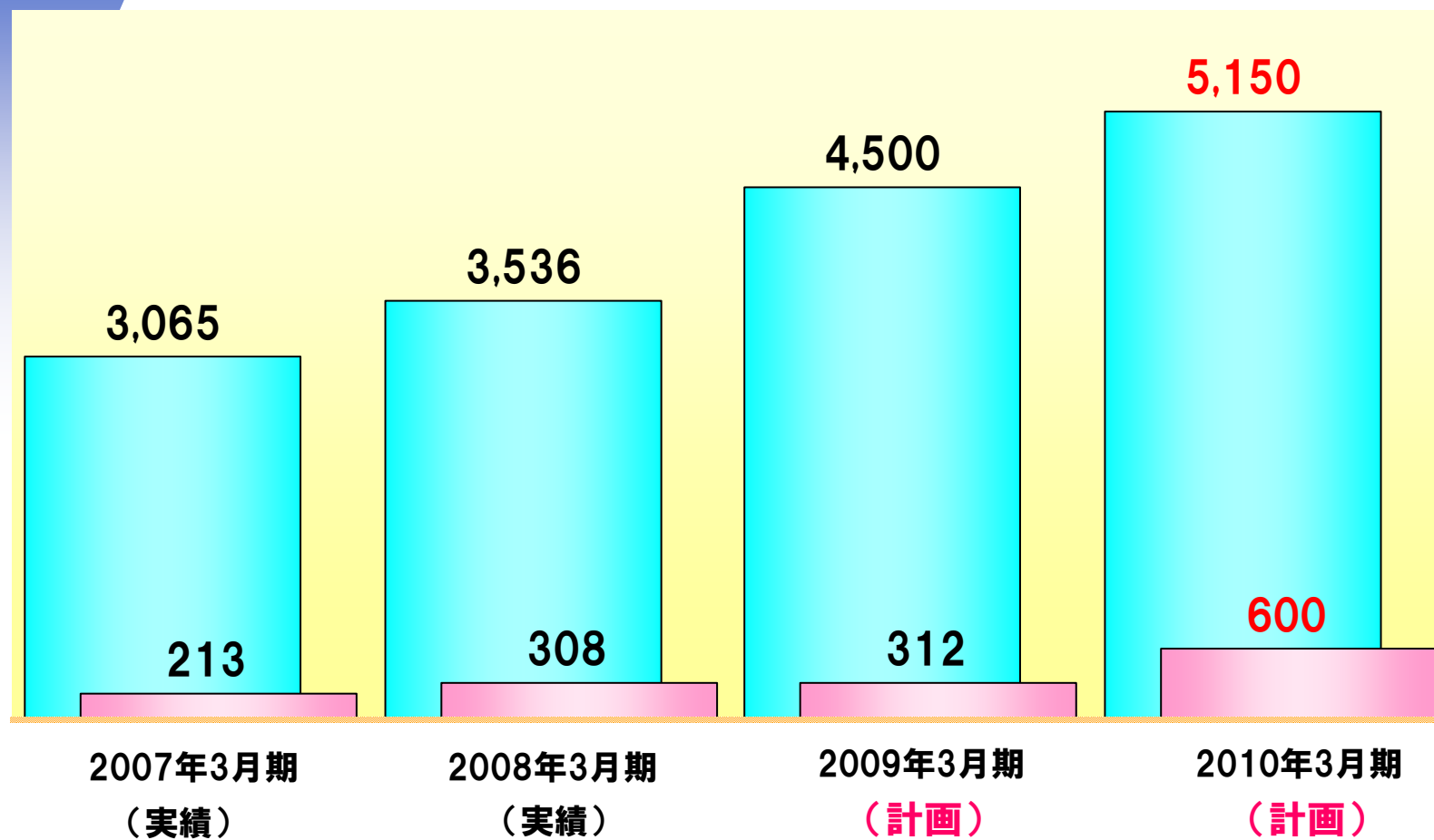
	2008年3月期 (実績)	2010年3月期 (計画)	年平均 伸び率
売上高	3,536	5,150	20.7%
営業利益 (営業利益率)	308 (8.7%)	600 (11.7%)	39.6%
経常利益 (経常利益率)	270 (7.6%)	554 (10.8%)	43.2%
ROA (総資産当期純利益率)	※ 5.5%	5.1%	—
研究開発費売上 高比率	2.1%	5.0%	—

※単体数値

■ 売上高

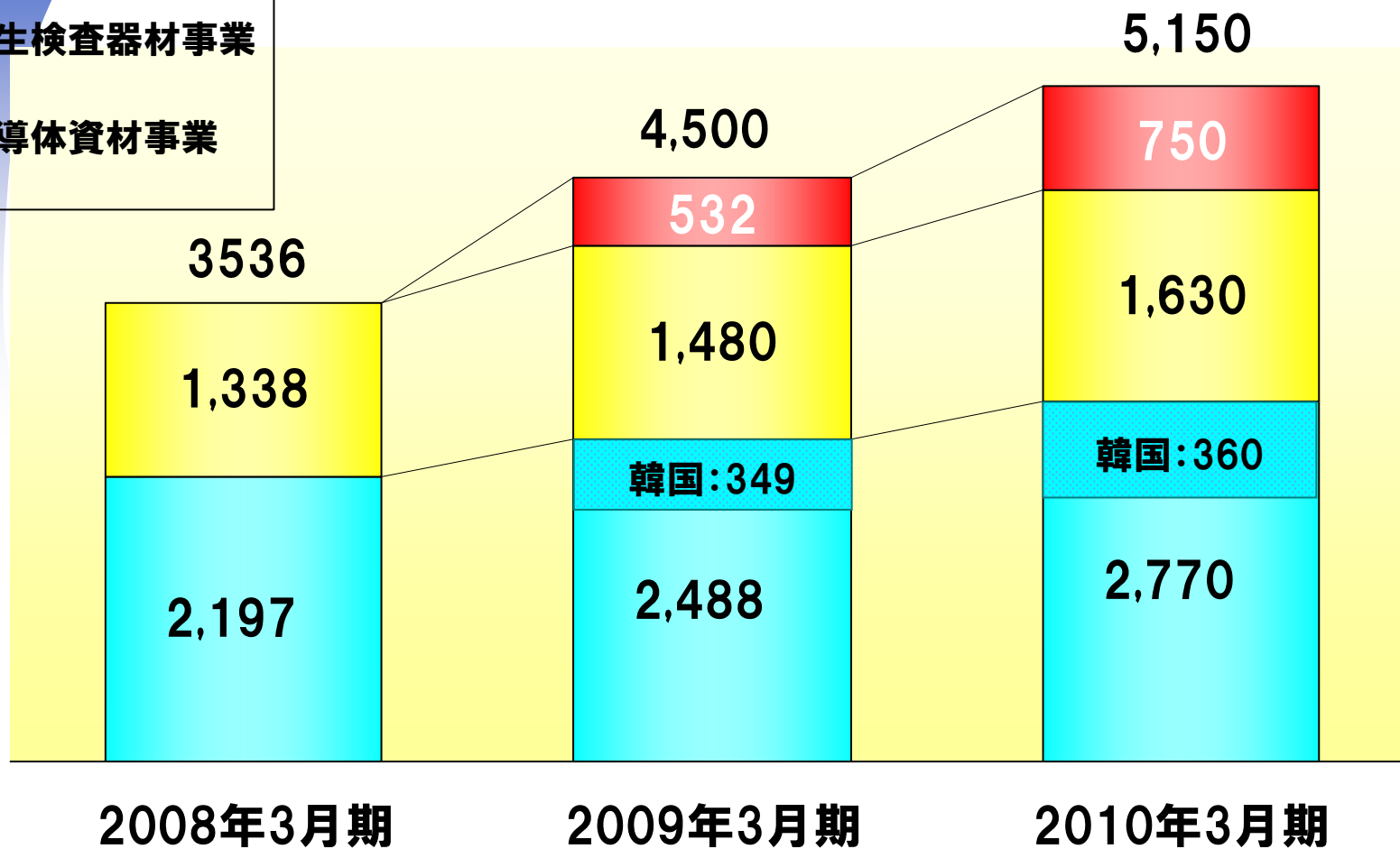
■ 営業利益

(単位:百万円)



(単位:百万円)

- ポリマー微粒子事業
+ 積層造形事業
- 衛生検査器材事業
- 半導体資材事業



年月日	IRイベント	場所	
2008年4月30日	2008年3月期期末業績開示		済
2008年5月2日	2008年3月期期末決算説明会	東京	済
2008年6月26日	株主総会	ヒルトン大阪	済
2008年7月31日	2009年3月期第1四半期業績開示		済
2008年8月1日	2009年3月期第1四半期決算説明会	日本証券アナリスト協会会議室 (東京)	済
2008年8月2日	個人投資家向け会社説明会	丸ビルコンファレンススクエア (東京)	済
2008年10月31日	2009年3月期第2四半期業績開示		済
2008年11月6日	2009年3月期第2四半期決算説明会	日本証券アナリスト協会会議室 (東京)	済
2008年11月8日	個人投資家向け懇談会	コンラッドホテル東京	済
2008年11月15日	個人投資家向け懇談会	ザ・リッツ・カールトン大阪	済
2009年1月31日	2009年3月期第3四半期業績開示		済
2009年2月4日	2009年3月期第3四半期決算説明会	日本証券アナリスト協会会議室 (東京)	
2009年2月4日	個人投資家向け懇談会	六本木アカデミーヒルズ カンファレンスルーム	

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 管理ディヴィジョン IR担当

TEL : 072-967-7000

E-mail : ir@atect.co.jp